



北陸地方整備局入札監視委員会事務局
資料配付

配布日時

平成31年1月18日
配布をもって解禁

北陸地方整備局入札監視委員会第一部会第3回定例会議を開催しました
— 審議概要を公表します —

(※1)

(※2)

平成30年度北陸地方整備局入札監視委員会第一部会の第3回定例会議を平成30年12月7日に北陸地方整備局で開催しました。

入札契約の運用状況の報告・審議と平成30年度第2四半期発注工事等の中から委員会
が抽出した8件の事案に関し、競争参加資格の設定や競争入札に係る指名の理由・経緯等
について審議を行いました。審議の結果、委員会による意見の具申又は勧告はありませんで
した。

- ※1 入札及び契約の過程、契約内容の透明性を確保するため、平成6年度から設置された学識経験者
等で構成される第三者機関です。
- ※2 第一部会（港湾空港関係事務以外を担当）及び第二部会（港湾空港関係事務を担当）においてそ
れぞれ四半期毎に開催しています。

同時発表記者クラブ
管内各県記者クラブ

(問い合わせ先)

新潟市中央区美咲町1-1-1(〒950-8801)

電話025-280-8880(代表)

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp>

北陸地方整備局入札監視委員会事務局

主任監査官 近藤 秀児 (会議の運営)

契約管理官 小幡 義則 (別紙「1 入札・契約手続きの運用状況」、「2 抽出事案
(役務の提供等及び物品の製造等)」)

技術開発調整官 山本 悟 (別紙「2 抽出事案(工事) (建設コンサルタント業務等)」)

北陸地方整備局入札監視委員会（第一部会第3回定例会議） 審議概要

開催日 及び場所	平成30年12月7日（金） 北陸地方整備局（新潟市中央区美咲町1-1-1）					
委員 (部会委員 5名)	部会長 大川 秀雄（新潟工科大学 学長） 部会長代理 土屋 武（新潟大学 法学部 准教授） 委員 佐藤 綾子（富山国際大学 現代社会学部 准教授） 委員 平石 広佳（弁護士） 委員 細山田得三（長岡技術科学大学 教授 環境社会基盤工学専攻）					
審議 対象期間	平成30年7月1日～平成30年9月30日					
報告事項	1 入札・契約手続の運用状況について (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 (6) 平成29・30年度 有資格業者登録状況					
審議事項	2 抽出事案8件（工事5件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件）					
	契約方式	件名	契約業者名	契約年月日	契約金額 (千円)	入札 者数
工 事	一般競争入札方式（政府 調達に関する協定適用対 象工事以外）	H30・31新潟大堰外ゲート設 備補修工事	(株)IHI インフラ建設	H30.7.27	111,240	2
		H30・31小川橋側道橋上部他 工事	佐藤鉄工(株)	H30.8.13	243,000	2
		H30手取川ダム管内放流警報用直 流電源設備改修工事	(株)ほくつう	H30.9.27	57,078	1
	工事希望型競争入札方式 以外の指名競争入札方式	新潟美咲合同2号館（H30）内 装改修工事	椎谷工務店(株)	H30.8.23	26,147	7
	随意契約方式	堀之内工区除雪作業（平成30・ 31年度）	小杉土建工業(株)	H30.9.13	16,416	-
建設コンサル tant業務等	簡易公募型競争入札方式 （総合評価落札方式）	平成30年度阿賀川（中流）定期 縦横断測量業務	(株)ダイエツ	H30.9.10	17,280	1
	簡易公募型プロポーザ ル方式	平成30年度施工合理化調査解析 業務	(一社)北陸地域づくり 協会	H30.7.23	18,036	-
役務の提供等及 び物品の製造等	随意契約方式	平成30年度新潟BC応急組立橋 架設訓練作業	(株)福田組	H30.9.21	12,204	-
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
(備 考)	次回定例会議を平成31年3月11日(月)に決定					

意見・質問	回答
<p>1 入札・契約手続きの運用状況について</p> <p>(1) 入札方式別発注工事一覧及び入札方式別発注建設コンサルタント業務等一覧並びに入札方式別発注役務及び物品の製造等業務一覧</p> <p>・役務及び物品の製造等業務の一般競争入札方式で、凍結防止剤購入単価契約の、それぞれの地域と予定価格(単価)の違いについて、教えていただきたい。</p>	<p>・管内を、道路系事務所の5ブロックに分けて発注しています。予定価格は輸送費等を含んでおり、若干の違いが出ています。</p>
<p>(2) 指名停止等の運用状況</p> <p>・特になし。</p>	
<p>(3) 談合情報等の対応状況</p> <p>・特になし。</p>	
<p>(4) 再度入札における一位不動状況</p> <p>・平成30年度の一般土木工事以外の第2回入札における状況の1者入札件数が、第3回入札における状況では増えていますが、この理由を教えていただきたい。</p>	<p>・3回目の入札で1者入札となった案件が追加されています。</p>
<p>(5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況(平成27年度～29年度)</p> <p>・この表は、受注に至ったものだけが割合に入ってくることになるのか。</p> <p>・落札業者以外の1者も低入札となっていますが、こちらもチェックするのですか。</p>	<p>・低入調査制度の対象工事となったものが、全て計上されています。</p> <p>・この案件については、第二順位者についての調査はしておりません。</p>
<p>(6) 平成 29・30 年度有資格業者登録状況</p> <p>・特になし。</p>	

意見・質問	回答
<p>2 抽出事案の審議について (工 事)</p> <p>1 一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外)</p> <p>「H30・31新潟大堰外ゲート設備補修工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札業者の配置予定技術者工事成績をみると0点になっていますが、受注実績・経験がないとは思えないんですが、加算するものがなかったということですか。 ・配置予定技術者の資格及び経験の要件で、同等以上の資格を有する者という表現がありますが、整備局、国交省が全体として同等以上の資格という具体的なものを示したものがいいのか教えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配置予定となっている技術者が、北陸地方整備局の工事实績がなかったということです。 ・入札説明書に、具体的な資格等の一覧が記載されています。
<p>「H30・31小川橋側道橋上部他工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工計画の評価方法について、教えていただきたい。 ・入札業者2社の評価点の差が大きい項目は何ですか、また、資料を入手した者が31者あったのに入札者が2者になった理由を教えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価のポイントにつきましては、現場の条件、設計条件に対する理解度、施工手順の妥当性、現場に適応した工法、使用機械・材料といった評価項目がありそれぞれの加算点により、評価しております。 ・評価の差については、同種工事の施工実績とか、工事成績といった大きな配点のところで、差がついております。31者から2者になっているところにつきましては、比較的小規模な工事であったことなどが、要因ではないかと推察しております。
<p>「H30手取川ダム管内放流警報用直流電源設備改修工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者が不参加ということですが、不参加理由等がもしわかれば、推測されるところで結構ですので、教えていただきたい。もう1点、入札状況を見ますと、競争参加資格を確認した者の数がやや少ないと思うのですが、入札者数を増やす対策等を考えているようでしたら、教えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1点目については、地元の業者でなく新潟の業者さんで、やはり遠いということが1つ理由になったのではないかと推測します。2点目については、地域要件を県内ですと13者でしたが、少ないということで北陸地方整備局管内ということで、最大限まで要件を広げて29者ということで、公告しております。

意見・質問	回 答
<p>2 指名競争入札方式 (工事希望型競争入札方式以外の指名競争入札方式) 「新潟美咲合同2号館(H30)内装改修工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般競争入札で参加者を得られなかった要因としては、どのようなことが考えられるのかが1点と、入札調書を見ますと金額の幅が広いと思うんですが、その要因がどういったことなのか、また、落札決定は価格が低い方で決定されたという理解でよろしいでしょうか。 ・業者の選定のランクは、どういった判断基準で決めるのかと、今回のランクがD及びC等級になった理由を教えてください。 ・最初に応募した者と落札者が、同一か教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者を得られなかった要因としては時期的なものや、職員が業務をしている中での工事となりますので、業者さんが慎重になったのではないかと推察します。価格の幅については、図面等で説明を十分しておりますが、仮設に対して色々考え方の違いで、金額の幅ができたのかと推察しています。落札決定は、予定価格内で、金額の低い者で決定しております。 ・業者のランク自体は、各工種毎に企業の実績や経営状況等を基に予め決めております。また、各工種毎に予定価格に対応するランクが設定されており、発注時にはそのランクを基本に参加資格としています。 ・同一ではありません。
<p>3 随意契約方式 「堀之内工区除雪作業(平成30・31年度)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
<p>(建設コンサルタント業務等)</p> <p>1 簡易公募型競争入札方式(総合評価落札方式) 「平成30年度阿賀川(中流)定期縦横断測量業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加資格を確認した者も入札者も1者ということで少ないんですが、参加資格で県内に本店を有することという設定がされていますが、入札者等が少ないことを予想すると本店のみならず、たとえば支店・営業所も含めても良いのではないのでしょうか、ダメな理由等があれば教えてください。 ・業務目的について、幅広い観点から、長期にわたる河道の状況変化を継続的に把握するための測量とあるんですが、河川一般に定期的に行うものなのか、疑念、問題点とか懸案事項があつて、こういう長期的視点から測量を行うのかを教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・14者が発注時に確認されて、それなりの競争性が確保されていると判断し行っております。結果として1者だったということから、今後につきましては、近隣する新潟県ですとか、範囲を広げることということも検討して参りたいと考えております。 ・定期縦横断測量というのは、一般的に私どもが管理しております河川の区間の最新の河道状況を把握するということと、長期的な変化を把握することを目的に、だいたい5年以内を目処に実施しております。阿賀川の場合は、前回平成25年に行っております。それから、大きな洪水があつたり、大きな河道に変化があつた場合にも、その都度実施しております。

意見・質問	回答
<p>2 簡易公募型プロポーザル方式 「平成30年度施工合理化調査解析業務」 ・競争参加資格を確認した者が1者という状況ですが、1者になってしまう要因は何かについてと、対応策があれば、教えていただきたい。</p>	<p>・この業務は、施工するのにどのくらいの労務費を使うとか、どういう機械を使うとか、そういうものを調査するものでございまして、ある程度専門性や特殊性が必要となります。工事の積算基準書作成のために、定年的に解析や調査を行うものなので、毎年業務を発注させていただいておりますが、特殊性等から1者の参加者という状況が多いことから、今年度につきましては、同種の条件を広げておりますが、結果的には、参加者が1者という状況だったということです。</p>
<p>(役務の提供等及び物品の製造等) 1 随意契約方式 「平成30年度新潟BC応急組立橋架設訓練作業」</p> <p>・トラスガータ橋ですけれども、長さ40mを越える場合には橋台が必要と書いてありますが、今回の訓練の中で橋台を組み立てて、設置するような作業をやられているのか、お聞きしたい。</p> <p>・災害が起きた場合は、協定に基づく随意契約になると思うんですけども、その場合に金額が合わないという形で、価格が問題になるということはあるでしょうか。</p> <p>・訓練作業ということで発注されていますが、組立橋自体は国交省が持っているものですか。</p>	<p>・今回の作業につきましては、橋台は設置していません。</p> <p>・この積算については、ほとんど架設部分については積算基準がございまして、それを業者さんも見ておりますから、今のところそういった価格が合わなくて問題になったことは、ありません。</p> <p>・そのとおりです。</p>